

第2回福井県国民健康保険団体連合会中期経営計画策定委員会会議録

1. 開催日 平成21年1月30日(金) 13時30分～15時30分
2. 場所 福井県自治会館6階602会議室
3. 出席者 別紙のとおり(委員10名)
事務局4名
4. あいさつ 新町常務理事
5. 協議事項
 - (1) 理事会・総会提出資料(案)について
 - (2) 国保連合会の現状と課題(案)について
 - (3) 全国国保連合会へのアンケート(案)について

委員会の経過と決定事項

○前回委員会以降、事務局での検討の中で変更した点について説明。

- ・ 検討項目の統合、新設と廃止をしたこと。
- ・ 検討スケジュールについては2月の理事会・総会に、現状と課題(案)についての提出を予定していたが、現状に関するデータが不足していること、課題についての十分な精査が出来ていないことから、スケジュールから削除することが了承された。

○事務局で検討した内容を説明。

- ・ 事務局組織を編成し組織班、財政班、事業班を設置し検討したこと。
- ・ 現状と課題(素案)を配ったが、現段階で整理されたものになっていないため、あくまで課題の参考としていただきたいこと。

※現状と課題(素案)については、委員会終了後、保険者からの委員5名分回収した。

○次回策定委員会の開催は4月中旬以降を予定している。

○次回協議事項は以下の内容を予定している。

- ・ 第2回以降の進捗状況の報告。
- ・ 中間報告(案)の提示
- ・ 全国連合会アンケートの分析報告

協議事項での〈質疑応答〉

(1) 理事会・総会提出資料(案)について

(事務局から説明)

委員) この計画の財源についてはどのように考えているのか。あらたなシステム等の導入の検討があげられているが、その財源を保険者に求めるのか、それとも違う方法を考えているのか。

事務局) 財源については新たな連合会の事業ということになると、20保険者からの手数料という形で事業については進めて行きたいと考えている。「～健全な財政運営」という検討項目の中で連合会が保有している基金、積立金等あるので、財源に充てていくかどうかということも含めてこの場で検討していただきたい。

委員) この計画に県の参画はなく、県民の健康福祉、県の施策にも反映すると思われるが、県の立場が見えてこない。

事務局) 県の立場ということについては、委員会を立ち上げるときに議論いただいたが、この計画は国保連合会ならびに保険者の皆様方の手作りで作成したい。委員としては選任していないが、中身については県の関与が大きい部分もあるので、検討の内容如何によっては県からオブザーバーとしての参画を求めることができることになっている。議論される場に県の参画を求めることが必要な場合にはご連絡いただければ、県へ申し入れ、参画を求め、的確な運営に努める。

委員) レセプトのオンライン化に費用がかかると思われるが、その費用負担を県に要望していかないと、県は国保連と20保険者が何をしているのかを把握していない。県に要望しながら、長寿福祉課がこちらを見るようなシステムにして、財政支援を受けられる体制を作っていくないと市町も困る。県が関与する部分を作らなければならない。

事務局) 単発的に要請する方法もあるが説得力に欠ける部分もあると思われるので、中期経営計画の中で財源、県の負担についての位置づけを詰めて、計画策定の後には県の負担をお願いするという方法もある。報告書をまとめた際には検討しなければならないと思っている。

(2) 国保連合会の現状と課題(案)について

【組織班、財政班】

(事務局から説明)

委員) 経理と出納がひとつというのは、別の課で対応するなど、分けて管理するというような、火急の対応が必要ではないか。支出負担行為のみ分けて対応することも出来るのではないか。

事務局) グループに2人しか職員がいない。他からの補充も今のところ困難な状況。支出負担行為と支出命令は各事業担当者が行い、出納のみ総務会計グループで行うという工夫はしている。

総務会計の支出分(人件費等)のみがグループ内での処理になっている。審査支払などの高額なものについては別決裁をしている。

他県の事例を参考にさらに工夫をして、次回お示ししたい。

委員) 出納管理者はおいてあるのか。

事務局) 出納員を総務課長が兼務している。

委員) 積立金の適正額が設定されていない。とあるが規則に定められていないのか。今の額が適正な額でないということか。

事務局) 財政調整準備資金は規則上、剰余金を積み立てることになっているが、現在6億の額となっている。連合会の事業会計としては約10億で賄われているが6億必要かどうかの検討が必要ということ。

- 委員) 積立金の上限額が定められていないということか。定める必要はあるのか。連合会の考え方を打ち出し、理事会・総会の承認を得ればよいのではないか。答えを導くのは難しいのではないか。
- 事務局) 目的にかなった積立額の上限を設け、超過した分については手数料の引き下げなど、保険者へ還元させていただければと考えている。
- 委員) 必要額を試算することは可能なのか。
- 事務局) 理屈があつてないに等しいので、適正額の見極めは困難。この場でご検討いただきたい。
- 委員) 概算払いの運用利子で共益費が賄えていないのであれば、さらに積み立てるしかないのではないか。金利低下のために不足額が生じているのであれば、手数料の中から賄うしかないのではないか。
- 事務局) 現在手数料から不足分を補填しているが、概算払金を他の積立金の剰余金を混ぜることは、性質が違うため困難である。金利が低い状況のため、必要額が不足しているが、積み増しについては金利上昇時に返還することも困難になるため、現実的には手数料で賄うしかない
- 委員) 事務局次長職の欠員については3年以内に解決を考えているのか。
- 事務局) 職制も含めて、検討をしているので、今度の4月に対応というのは困難だが早急に解決したい。
事務局次長の欠員分については、平成20年度において激変緩和措置として、事務引継ぎを行っている。平成21年度においては年に数回経理関係の点検をお願いすることとしている。
- 委員) 年齢構成が偏り、管理職に業務過重になっているというのは、業務を下ろせばよいのではないか。課長補佐におろすことで課長補佐の業務が過重になるのか。また、職員はひとつの部署に長年配置されているということがあるのか。
- 事務局) 課長補佐は総括補佐（連合会では課長代理といっている）をふくめ5名いるが、担当課長補佐は各グループを見ているような格好になっており、このあたりの年代が不足している。この解決策としては、若手の登用、市町との人事交流、不足している年代の採用などいくつか考えられるが、職員のモチベーションの問題も考えなければいけない中で、対応しなければならないと考えている。
職員の配置に関しては、これまで硬直化していた感があつたので、今年度、大きく人事異動を行ったが、なれた仕事でないからか、若年層の頃にいろんな部署に異動するという経験がないからか、慣れるまで時間がかかるとかコミュニケーション不足ということがあつたが、今は落ち着いて業務が行えている。
- 委員) 人事評価は試行段階ということだが、仕事の内容があまり変わらずに評価というのは難しいのではないか。市町とは違い、仕事に幅があまりないように思うが。

事務局) 評価の手法などについては、試行を継続しながら詰めていかなければならないと思っている。問題なければ4月から導入を考えていたが、もう1年様子を見る必要があると思っている。

委員) 人事評価はどのように活用を考えているのか

事務局) 現在は昇給に反映ということを考えているが、一度の評価で今後の所得に影響が出るということについては、一時金に反映するのか昇給に反映するのかという検討をしている。

委員) 評価結果を本人に返すのか。越前市は試行段階だが自己評価をしている。勤勉手当に反映させようとしているが、本人にフィードバックされない。また、パイが決まっているので、出来るだけ均等につけるようになってしまっている。差をつけづらい。生涯賃金という考え方からいうといきなり昇給に反映させるのは難しいのではないかと。

事務局) 福井県は管理職から始めようとしているが、試行段階では本人にフィードバックしている。5段階の5は何%、4は何%という取り決めがある。差をつけるような形をとっている。

連合会は試行段階だが、4月からということは難しいと思っている。人事評価になじみにくいところで試行というのも考えている。

委員) 各種手数料については、愛知県では低くなっているが、処理量が違うので比較にならないが、北陸三県で近づける必要はあるのではないかと。

事務局) 下がるものもあれば、あがるものもあると考えている。算定根拠に説得力のある単価の設定を求められているので、手をつけないわけにはいかないと考えている。

【事業班】

(事務局から説明)

委員) 収納関係のコールセンターの設置を中央会が検討していると聞いているが、今回検討項目にあげていないのはなぜか。

事務局) コールセンターについては、当初よりかなりトーンダウンしている状況で、情報を収集して、お知らせできるようにしたい。

委員) 電算管理室の設備不足、データのバックアップがされていないに等しいことなど、問題が多いと思われる。

空調設備はどうなっているのか。空調が壊れると温度管理が出来なくなりサーバーが故障する原因になるが空調のバックアップはどうか。

データのバックアップはどうか。データが消去したときの対応はされているのか。

事務局) 空調のバックアップは準備していないが24時間365日稼働させている。

データのバックアップは電算管理室の中で管理している。

サーバーの二重化は対応しているシステムもある。

データが消去したときの対応は準備していない。

22年度には保険者レセプト管理システムのサーバー設置については、自治会

館内部に設置、もしくはアウトソーシングを含めて検討が必要と考えている。

委員) 第三者行為専門員は雇用されないのか。よく精通しているものが勝ちという世界でもあるので、損害保険OBなどを採用する必要があるのではないかと。少しでも医療費適正化を図りたいと考えている。

事務局) 事務量の問題や他県での状況を見ながら検討させていただく。

委員) 保健師についてはどうか。一人一人雇用するのではなく。ベテランのいるうちに若い職員を雇用するという中期的な採用をしてはどうか。

事務局) 資格があるというだけでなく、市町の保健師をまとめていくという役割も必要ですので、準備期間も必要かと考えている。

委員) これまでの課題を解消するにはどれだけの人員が不足しているのか。

事務局) これからの課題ですが、今までのような処理の方法とは全く違ってくるので、見極めていきたい。

福井県は少人数で窮屈でしたが、他県では福井県が先頭に立っていると見られている。これまで増員してきたところは、現行職員数の処遇に悩んでいるが、福井県は必要数の確保に努めてきたため、有利な面がある。一時期に採用すると偏りが出来る原因にもなるため、慎重に検討したい。

(3) 全国国保連合会へのアンケート(案)について

(事務局説明)

委員) 電算システムの管理について北陸三県で管理するという構想は無いのか。小規模県で維持管理費を負担していくのはこの先厳しいものではないか。

事務局) 愛知県と岐阜県では同様のシステムを導入し、危機管理に備えていると聞いている。維持管理費の面から複数県で共同運用という話は今のところ無い。

第2回福井県国民健康保険団体連合会
中期経営計画策定委員会出席者名簿

平成21年1月30日

所 属	役 職	氏 名	備 考
福井市保険年金課	課 長	水 上 昇 一	
小浜市健康長寿課	課 長	吉 岡 澄 生	
大野市市 民 課	課 長	澤 田 みち代	
越前市保険年金課	課 長	小 林 正 通	
福井食品国民健康保険組合	事 務 局 長	森 下 孝 憲	
福井県国民健康保険団体連合会	常 務 理 事	新 町 浩 治	会長
	事 務 局 長	永 田 和 子	職務代理
	事 務 局 次 長	山 岸 豊	
	審査課課長代理	近 江 常 男	
	総務企画課課長代理	竹 澤 芳 郎	

策定委員会事務局	連合会役職	氏 名	
組織班副班長	総務企画課課長補佐	三 村 三 枝 子	
財政班副班長	審査課課長補佐	川 上 紀 代 美	
事業班副班長	審査課課長補佐	高 村 智 美	
事務局員	総務企画課企画主査	多 田 信 博	